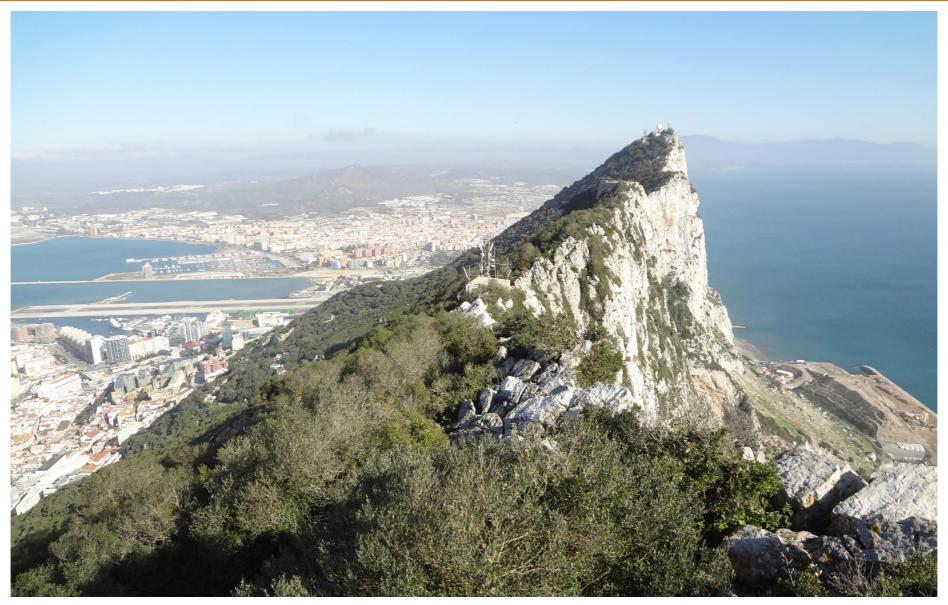
BELSの改定について

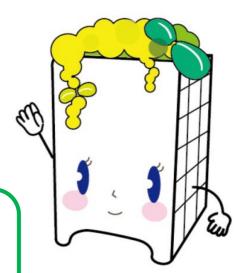


BELSの基本事項一1

BELS(ベルス)とは

- ① Building-Housing Energy-efficiency Labeling System= 建築物省エネルギー性能表示制度
- ② 2014年4月非住宅のみで開始、2016年4月住宅へ拡大

新築・既存の別を問わず、全ての建築物を対象とした 省エネルギー性能等に関する評価・表示を行う任意の制度



ベルサちゃん (BELSの公認キャラ)





任意の制度だが

- ・建築物省エネ法「表示の努力義務」
- •各種補助金の要件
- •フラット35Sの要件

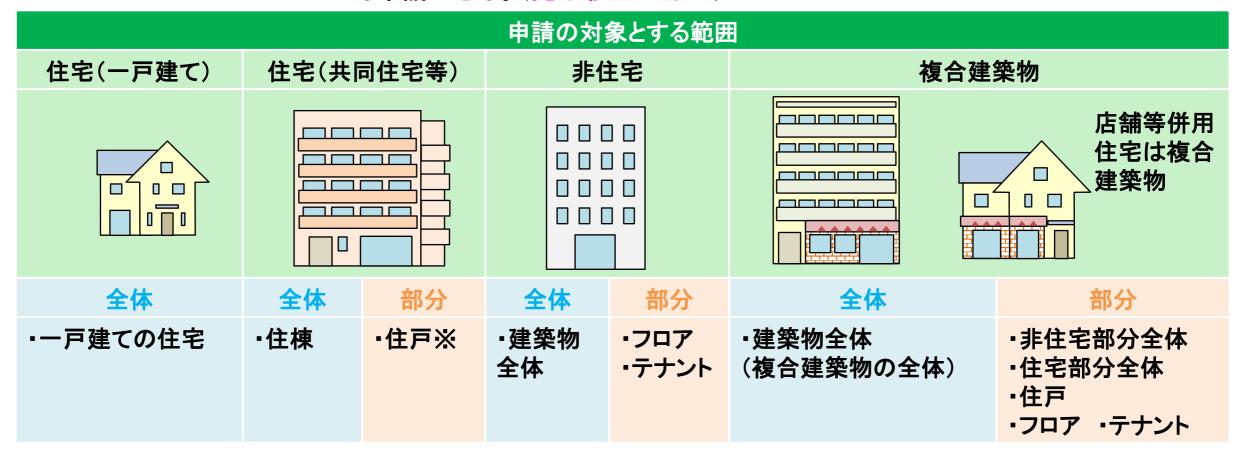
等へ活用可能であり、取得する案件が増加している。

BELSの基本事項一2

BELSの評価対象について



- ① 建物用途はフリー ⇒ 非住宅でも、住宅でも評価の対象となる。
- ② 申請範囲はフリー ⇒ 建物全体でも、一部でも評価の対象となる。例えば、共同住宅の場合、住棟全体で申請してもよい。非住宅のテナントやフロアのみの申請も可。
- ③ 申請時期はフリー ⇒ 申請された図面に基づく審査となるので、設計段階、施工段階、竣工後のどの段階でも申請できる。(完了検査は無し)



BELSの評価方法



➡ 評価がシンプルかつビジュアル

評価はBEIの結果のみで決まる。

ここで、省エネを示す指標BEIとは、省エネ適判で使用 されているBEIと同じ定義で、計算方法も同じである。

② BEIの結果により「星」の数が決まる。星の数が多いほど、省エネ性能に 優れていることになる。

BELSの基本事項一4

BEIの計算方法

非住宅の場合

住宅の場合

モデル建物法 標準入力法 BEST(省エネ基準対応ツール)

住宅に関する省エネルギー基準



申請者は建築物

省エネ法における

省エネ適判や届出

の申請書類とほぼ

同じもので申請で

きる

審査は省エネ適判と ほとんど同じ

審査は住宅性能評価と ほとんど同じ

建築物省エネ法と異なる点

に準拠したプログラム

再生可能エネルギーを売電とする場合

省エネ適判 ~ 評価に含むことができない

BELS

~ 売電があっても評価に含むことができる。(余剰がある場合)

2024年4月、BELSが変わる!

背景 2022年の建築物省エネ法改正

省エネ性能表示制度の改正に伴いBELSも変更

| 改正概要 | 施行時期 | | |
|------------------------------------|-----------------|--|--|
| 住宅トップランナー制度の拡充 | 2023年 4月1日施行 | | |
| 建築物の販売・賃貸時における 省エネ性能表示 | | | |
| 省エネ改修や再エネ設備の導入に支障 となる高さ制限等の合理化等 | 2024年 | | |
| 再エネ利用促進区域制度 | 4月1日施行予定 | | |
| 建築士の再エネ導入効果説明義務 | | | |
| 原則全ての新築住宅・非住宅に省エネ 基準適合を義務付け | 2025年 4月施行予定 | | |

省エネ表示制度の改正(2024年4月1日施行予定)

現行法では、「建築物の販売又は賃貸を行う事業者に対し、その販売又は賃貸を行う建築物について、エネルギー消費性能の表示に努めなければならない」という努力義務が課せられている。

改正概要



努力義務の強化

国土交通大臣名で下記①~④を実施(当面は社会的影響が大きい場合を対象)

- ① 建築物の省エネ性能に関して販売・賃貸業者が表示すべき事項および表示に際して遵守すべき事項を告示
- ② ①の告示に従って表示していない場合は、表示するよう勧告
- ③ ②の勧告を受けたものが、その勧告に従わなかったときはその旨公表
- ④ ②の勧告を受けた者が正当な理由なく、その勧告に従わなかった場合、建築物の省エネ性能の向上を著しく 害すると認めるときは、審議会を意見を聞いて、勧告に従うよう命令

| 対象 | 2024年4月1日以降確認申請を行ったすべての建築物に関して省エネ性能を表示する場合は告示に従った評価書とラベルが必要 |
|--------|---|
| 表示を行う者 | 建築物の販売・賃貸を行う事業者 (事業者であるかは反復継続して販売等行っているか等で判断) |

省エネ性能表示制度における省エネ評価の方法

改正後の省エネ性能表示制度では省エネ性能評価書と省エネ性能ラベルが必要になります。 作成方法は、自己評価と第三者評価の2つの方法があります。

自己評価

自己評価とは、販売・賃貸事業者が自ら、国が指定するWEB プログラム、 もしくは仕様基準に沿って、建築物の省エネ性能の評価を行うことを指し ます。ZEHマーク、ZEBマークは使用できません。

第三者評価

第三者の評価機関に依頼し、建築物の省エネ性能を評価することを指します。第三者評価制度のBELS(ベルス)では、ラベルや評価書にBELSマークを表示できます。表示内容の客観性・信頼性を向上できるほかに、ZEHマーク・ZEBマークが評価書等に記載されます。

省エネ性能表示制度の開始に伴い、BELSの☆の評価が、2024年4月1日から変更となります。

現状のBELSの評価方法

- ① 評価はBEIの結果のみで決まる。
- ② BEIの結果により「星」の数が決まる。星の数が多いほど、省エネ性能に優れている。

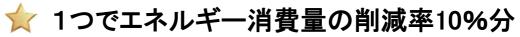
現行のBELS(2024年3月31日まで)

| ★評価 | 住宅 非住宅 (BEI) | 非住宅(BEI) | | | |
|------------|--------------------|----------------|-----------------------------|--|--|
| | | 事務所·学校 ·工場等 | ホテル・病院 ・百貨店・飲食 店・集会所等 | | |
| **** | 0.80 | 0.6 | 0.7 | | |
| **** | 0.85 | 0.7 | 0.75 | | |
| ☆☆☆ | 0.90 | 0.8 | 0.8 | | |
| ☆☆ | 1.0 | 1.0 | 1.0 | | |
| * | 1.1 | 1.1 | 1.1 | | |

新BELS(2024年4月1日以降)—1

再エネ設備のない住宅の場合

基本的なルールに変更なし。★の評価が変更



| | 基準一次エネルギー 消費量からの削減率 | BEI 省エネ基準等との関係 | | |
|-----------|------------------------|----------------|--------------------------|--|
| 4 *** | 30%以上 | 0.7≧BEI | 了 誘導 ZEH | |
| 3 2 2 2 | 20%以上30%未満 | 0.8≧BEI>0.7 | 基準基準 | |
| 2 *** | 10%以上20%未満 | 0.9≧BEI>0.8 | ー 20% 省エネ 以上 基準 削減 | |
| 1 2 2 2 2 | 0%以上10%未満 | 1.0≧BEI>0.9 | | |
| 0 4 4 4 | 0%未満 | BEI > 1.0 | | |

新BELS(2024年4月1日以降)-2

再エネ設備のある住宅の場合

非住宅の場合(再エネ設備にかかわらず)

凡例

住宅 <二 省エネ基準

📁 誘導基準

ZEH基準

非住宅 🔷 中小規模建築の省エネ基準 🔷 ZEB Oriented基準

✓ ZEB基準(ZEB Ori.以外)

< → 大規模建築の省エネ基準

<━ 誘導基準

| | 基準一次 | | | 省 | エネ基準等との | D関係 | |
|---|----------------------------|-------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------------|
| | エネルギー | BEI | / <u>></u> | | 非伯 | E宅 | |
| | 消費量から の削減率 [※] | | 住宅 再エネ有 | 工場等 | 事務所等 学校等 | ホテル等 百貨店等 | 病院等 飲食店等 集会所等 |
| 6女女女女教教 | 50%以上 | 0.5≧BEI | | | | | |
| 5~~~~~ | 40%以上50%未満 | 0.6≧BEI>0.5 | | 50% 以上 削減 | | 50% 以上 削減 | 50% 以上 削減 |
| 4 * * * * * | 30%以上40%未満 | 0.7≧BEI>0.6 | | 40% 以上 削減 | 40% 以上 削減 | | |
| 3 *** | 20%以上30%未満 | 0.8≧BEI>0.7 | | 25% 以上 削減 | | 30% 以上 削減 | 30% 以上 削減 |
| 2 *** | 10%以上20%未満 | 0.9≧BEI>0.8 | | | | | 15% 以上 削減 |
| 1 * * * * * * * * * * * * * * * * * * * | 0%以上10%未満 | 1.0≧BEI>0.9 | | | | | 削減 |
| 0 | 0%未満 | BEI > 1.0 | | | | | |

新BELS評価により取得できる様式

従来からの書式

内容が改定されているが、従来から取得できる書式

BELS評価書

BELSプレート(希望者のみ)





省エネ性能表示制度の 評価書として利用できる。



BELSシール(希望者のみ)



今回の改定に伴い新たに用意された様式

住宅や非住宅の販売や賃貸で利用

省エネ性能ラベル(告示による様式)

住宅用



非住宅用



新BELSの評価書記載内容(住宅)

BELS評価書(住宅(住戶))では、省エネ性能ラベルには表示されていないBEIの数値や削減率などの詳細な情報の他、省エネ基準、誘導基準の達成状況、ZEH等に関する情報が記載されます。また、補助制度等において、住宅等の性能を証明する証明書類として、評価書を用いることができる場合があります。



BEI-削減率

各項目ごとの BEI、削減率を 表示します。

達成状況

各基準ごとの 達成/非達成を 表示します。

特記項目

ZEH等に関する 項目を表示し ます。

再エネ設備

再エネ設備の 種類、容量を 任意で表示し ます。



出典 住宅性能評価・表示協会の資料から

新BELSの評価書記載内容(非住宅)

BELS評価書(非住宅)では、住宅と同様にBEI値(モデル建物法の場合はBEIm値)、削減率、任意で再エネ設備の種類、容量などが表示されるほか、省エネ基準、誘導基準の達成状況も表示します。



出典 住宅性能評価・表示協会の資料から

省エネ性能ラベルの記載内容(住宅)

建築物の販売・賃貸を行う事業者は、建築物の販売・賃貸の際には、告示で定めるラベルを用いて、省エネ性能を表示することが必要となります。

BELSでは、第三者の評価機関が審査することにより、表示内容の客観性・信頼性を向上させることができ、 ラベルの左下に「第三者評価BELS」と表示されます。



エネルギー消費性能

星のマークが増えるほど、省エネ性能が高いことを示しています。

断熱性能

家のマークが増えるほど、断熱性能が高いことを示しています。

目安光熱費

年間にかかる光熱費の目安を記載しています。

※目安光熱費は任意項目です。

第三者評価BELS

第三者の評価機関により評価されたことを示しています。

ZEHマーク

BELS(第三者評価)の場合のみ使用できます。

出典 住宅性能評価・表示協会の資料から

ご清聴ありがとうございました。